

NINJAL Prosody and Grammar Festa 2 シンポジウム
「日本語と言語類型論」(2018.2.17)

日本語の名詞修飾表現と言語類型論

堀江薫

名古屋大学文学部・人文学研究科

horieling@gmail.com



本発表のねらい：

1) 言語類型論の成果を踏まえ、他言語との比較を通して日本語の名詞修飾表現の機能的有用性 (functional utility) を示す。

2

本発表のねらい：

2) 日本語の名詞修飾表現の観察に基づいた寺村秀夫氏の先駆的研究(1975-1978)が現在言語類型論の分野に影響を与えつつある動向を報告する。

3

本発表のキーワード

- ・「関係節」「補文」「副詞節」
- ・名詞句接近性階層
- ・GNMCC
- ・「内の関係」・「外の関係」
- ・短絡節
- ・主節現象
- ・語用論的推論
- ・連体 vs. 連用
- ・独立名詞修飾節

4

1. 名詞修飾(連体修飾)表現とは？

- ▶ 「限定的修飾」= 語や句や節によって名詞(体言)の指示範囲を限定し、その内容を詳しく説明すること

5

語による連体修飾(連体修飾語)

- ・指示語・連体詞による修飾：
この人、あの本
- ・形容詞による修飾：面白い本、きれいな女性
- ・動詞による修飾：痩せている女性、忘れられない出来事

6

句による連体修飾(連体修飾句)

母からの手紙

突然の知らせ

7

「節」による連体修飾(名詞修飾節): 本発表の対象

- ▶ 最近話題になっている本
- ▶ 友達から借りた本
- ▶ 頭がよくなる本
- ▶ 夜中にトイレに行けなくなる本
- ▶ ドアを叩く音
- ▶ 友達から本を借りた噂

8

2. 言語類型論における「名詞修飾節」の 位置づけ: 「関係節」と等価か?

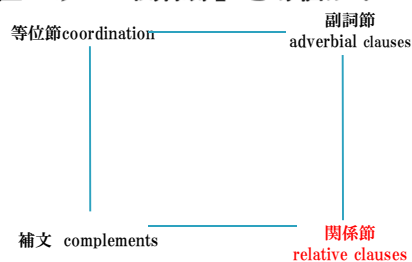


図1 言語類型論における
複文の4類型

9

4つの複文タイプの事例: 英語

- ▶ 「関係節(relative clauses)」「補文(complements)」「副詞節(adverbial clauses)」「等位節(coordination)」

- (1)(a) The news [*which* surprised everyone] was Nixon's resignation. (関係節)
- (b) The news [*that* Nixon resigned] surprised everyone. (補文)
- (c) [*When* Nixon resigned], everyone was surprised. (副詞節)
- (d) [Nixon resigned] *and* [everyone was surprised]. (等位節)

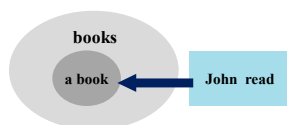
10

ヨーロッパ言語における「関係節」 (relative clause)

Keenan & Comrie (1972, 1977)

統語的に規定, 集合論的に定義

e.g. the book that John read ~ John read a book.



11

従来の類型論研究: 「関係節」 という概念を軸に進展

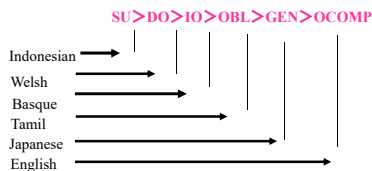
- ▶ 関係節の名詞句接近性階層 (Keenan and Comrie 1977)
- (2) 主語 > 直接目的語 > 間接目的語 >
斜格目的語 > 属格目的語 > 比較の対象

通言語的な関係節の作りやすさ

「比較の対象の名詞句」(英語では可能)
the woman that Mary is taller than_
「メアリーが(その人よりも)背が高い女」

12

名詞句接近可能性の言語間変異
(Keenan & Comrie 1972, 1977)



13

含意的な階層性

階層の中のある位置(例: 属格目的語)の名詞句を主要部とする「関係節」が可能であれば、その左側にある直接目的語、主語の名詞句を主要部とする関係節は可能であることが予測可能

しかしその右側にある「比較の対象」の名詞句の可否については予測しない

14

主語: (3a) [その町で生まれた] 政治家
 < 政治家がその町で生まれた。
 直接目的語: (3b) [篤志家が建立した] 銅像
 < 篤志家が銅像を建立した。
 間接目的語: (3c) [篤志家が銅像を寄贈した] 政治家
 < 篤志家が政治家に銅像を寄贈した。
 斜格目的語: (3d) [篤志家が銅像を建立した]公園
 < 篤志家がその公園で銅像を建立した。
 属格目的語: (3e) [不肖の息子が銅像を破壊した] 篤志家
 篤志家の不肖の息子が銅像を破壊した。Cut-off point

 比較の対象: (3f) * [伊達政宗の銅像が20センチ高い] 政治家の銅像
 伊達政宗の銅像がその政治家の銅像より20センチ高い。

15

井上和子 (1976): Keenan & Comrie (1972)に触発され日本語における名詞句接近可能性階層を提唱

「斜格名詞句」の豊富さに着目

(4) 主格 > 直接目的語 > 間接目的語 > 位置格「に」 > 位置格「を」 > 目標格「に」または「へ」 > 位置格「で」 > 助格「で」 > 基準格「で」 > 奪格「から」 > 所有格「の」 > 起点格「から」 > 隋格「と」 > 理由格「で」 > 比較格「より」
 (井上1976: 187; 一部字句追加)

16

しかし、「名詞修飾節」の機能領域は「関係節」よりも広い

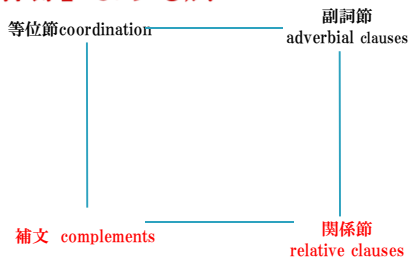


図1 言語類型論における複文の4類型(再掲)

17

日本語の名詞修飾節の機能領域: 「関係節」「補文」+ αの構造を含む

(5) (a) The news [{which/*that} surprised everyone] was Nixon's resignation. (関係節)

(a') [みんなを驚かせた]{0}ニュース...

(b) The news [{that/*which} Nixon resigned] surprised everyone. (補文)

(b') [ニクソンが辞任した]{0}ニュース...

(c') [記憶力が3倍増す]{0}睡眠法

(d') [シンポジウムが行われていた]{0}隣の建物

18

▶ 日本語学と言語類型論のズレ

名詞を主要部とする複文の「類型化」(カテゴリー化)の相違

日本語「名詞(連体)修飾節」
≈ 「関係節」「補文」等

1
9

ヨーロッパ型「関係節」vs. アジア型「名詞修飾節」(大関2008, 一部修正)

ヨーロッパ型「関係節」を持つ言語(英語等)では、両者は異なった形式で表される。一方、アジア型「名詞修飾節」を持つ言語(日本語等)では同じ形式で関係節と補文の両方の構造的解釈を表すものがあり、さらにいずれにも相当しない構造的解釈を表すこともできる。

- (5)(a)[みんなを驚かせた]{0}ニュース(関係節)
(b)[ニクソンが辞任した]{0}ニュース(補文)
(c)[記憶力が3倍増す]{0}睡眠法
(d)[シンポジウムが行われていた]{0}隣の建物

20

3. 日本語における「内の関係」・「外の関係」の名詞修飾節(寺村秀夫)

1970年代:類型論の関係節研究と日本語の名詞修飾節研究のcoincidence (serendipity?)

Keenan & Comrie (1972, 1977): 類型論 → 日本語研究にもインパクト(井上1976)

寺村秀夫「名詞修飾のシンタクスと意味 I~IV」(1975-78年;『日本語日本文化』大阪外国語大学研究留学生別科, 後に寺村1992としてまとめられる): 日本語学 → 同時代に類型論研究に影響を与えることはなかった。

2
1

「内の関係」の名詞修飾節 = 関係節に対応

被修飾名詞が修飾節の述語と「格関係」で結ばれているタイプの名詞修飾節

- (6a) 鈴木さんが友達から本を借りた。
(b) [(0)友達から本を借りた]鈴木さん(「が」格)
(c) [鈴木さんが(0)本を借りた]友達(「から」格)
(d) [鈴木さんが友達から(0)借りた]本(「を」格)

2
2

「外の関係」の名詞修飾節 = 補文?

被修飾名詞が修飾節の述語と「格関係」で結ばれておらず、どの格助詞を用いても被修飾名詞を修飾節に入れることができないタイプの名詞修飾節

- (7) 鈴木さんが友達から本を借りた]という/との噂
(8) [鈴木さんが友達から本を借りた] 理由

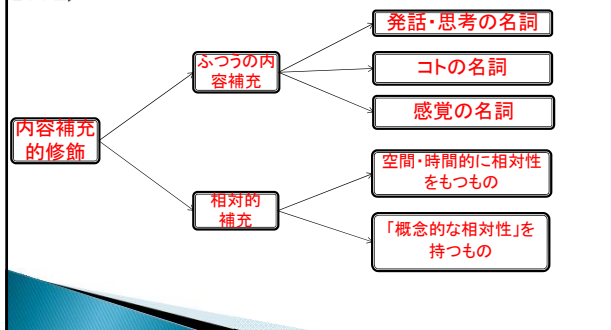
2
3

「内の関係」と「外の関係」の中間的なタイプの名詞修飾節: 「短絡」の関係

- ▶ (9)[頭 が/の よくなる] 本
- ▶ 通常の「内の関係」の名詞修飾表現とは異なり単に格助詞を付すだけでは修飾節内に被修飾名詞を組み込むことはできない。
- ▶ ×この本(が/を/に...)頭がよくなる。
- ▶ しかし、「格助詞」に「他の要素」を組み合わせると組み込むことができる
- ▶ (9') この本を読めば頭がよくなる。 → [この本を読めば頭がよくなる] 本

24

「外の関係」の内容補足的修飾節の下位分類(寺村1992)



寺村のふつうの「内容補充」(寺村1992: 199)

- ▶ 修飾部が主名詞の内容を表している
- ▶ 主名詞に「は」をつけて「主題—解説」文に展開可(例:その話は...ものだ。)

- (10)(a)[女房の幽霊が三年目にあらわれる]話
 (b)[清少納言と紫式部が会った]事実
 (c)[それが正しいという]意見
 (d)[さんまを焼く]匂い
 (e)[宮女たちが布を洗っていた]姿
 (f)[誰かが階段を降りて来る]音

26

通言語的に「補文」に相当する場合も多いが必ずしもそれに相当しない場合(分詞句・不定詞句等)もある。

- (1) (b) The news [that Nixon resigned] surprised everyone. (補文)

- ▶ 寺村(1980)
- ▶ 「知覚を表す名詞」(音、匂い、味など...)を主要部とする名詞修飾表現を英語に訳す際に「that節でなく、「of~ing」の形の内容的修飾形式をとる特徴がある」(p.260)
- ▶ 「写真」「光景」のような名詞は「“of~”だけでなく、「in which...」関係節を取ることが多い。」(p.260)

27

「相対補充」(寺村1992:199-200):通言語的に名詞修飾表現として十分認知されていない

- ▶ 主名詞に「は」をつけて「主題—解説」文に展開不可(例:原因は火事が広がったことだ。)
- ▶ 「相対的關係」を表す(例:前⇔後, 左⇔右, 前日⇔(当日)⇔翌日, 原因⇔結果, 罪⇔罰, 隣り⇔隣り)

- (11)(a)[火事が広がった]原因
 (b)[キング師が暗殺された]結果...
 (c)[先頭集団を走っている]前を...
 (d)これも[美栄子を殺した]罰といえばそうだが...

28

寺村秀夫の名詞修飾節研究のその後: 言語類型論へのインパクトの現状

- ▶ 日本語学: 益岡隆志氏による継承・発展(益岡2000等)
- ▶ 語用論・(フレーム)意味論: 松本善子による発展・再解釈(Matsumoto 1997, 松本1993; 他に加藤2003)

Matsumoto, Yoshiko (1997). *Noun-Modifying Constructions in Japanese: A Frame-Semantic Approach*. John Benjamins, Amsterdam.

- ▶ General Noun-Modifying Clause Construction (GNMCC)(Matsumoto 1997)

29

GNMCCの認識: 言語類型論におけるパラダイムシフト

言語類型論の分野ではGNMCCとして定着 (Association of Linguistic Typology (ALT) conference, December 2017@Australian National U.)

これまで認識されていない構造を可視化することが可能となった

Matsumoto, Comrie, and Sells 2017

30

名詞修飾節に関する類型論的共同研究プロジェクト（アジア言語を中心に）

1) 松本善子氏によるStanford大学での国際共同研究プロジェクト(2009年～2015年) 堀江、パルデシが参加 (成果:Matsumoto, Comrie, and Sells 2017)

2) Prashant Pardeshi氏による国語研国際共同研究プロジェクト(進行中)

The National Institute for Japanese Language and Linguistics. Project: Noun-modifying expressions (NME) in Cross-linguistic Studies of Japanese Prosody and Grammar (2016 - Present)

3
1

国立国語研究所が「寺村秀夫連体修飾論文英訳集」を公開(2017年7月)

【このサイトでは、1970年代から1980年代にかけて日本語学・日本語教育の学術的基盤を築くのに大きく貢献した故・寺村秀夫教授(1928-1990)が残した学術論文の幾つかを英語に翻訳して提供します。】

<http://adnominal-modification.ninjal.ac.jp/ja/>

32

3.1 「可視化された」名詞修飾表現 アルメニア語の「不定詞句」による名詞修飾

アルメニア語の名詞修飾: 定形節, 分詞句(結果分詞, 仮定分詞, 不定詞), 相関節が分担: 「内の関係」の場合

> 定形節

(12a) Txa-n, [vor-e qn-ac er ajntex]...
boy-the which-the sleep-RES.PTCP was over there
‘そこで眠っている少年は...’

> 相関節

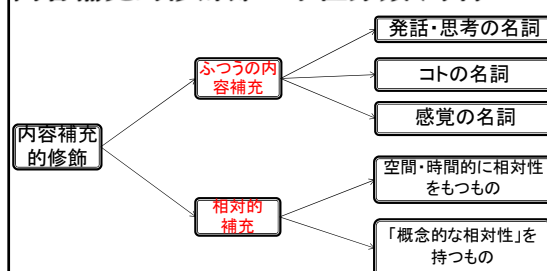
(12b) A/in txa-n, vor-e qn-ac er ajntex...
that boy-the which-the sleep-RES.PTCP was over there
‘そこで眠っている少年は...’

> 分詞句

(12c) [Ajntex qn-ac] txa-n...
over there sleep-RES.PTCP boy-the ‘そこで眠っている少年は...’

3
3

内容補充的修飾節の下位分類(寺村1992)



外の関係の名詞修飾表現: 不定詞 > 定形節

<内容補充的修飾>(寺村の観察)

① 発話・思考の名詞: 手紙、意見、考え、話...

✓ 発話名詞: 「という」の介在が必須

✓ 思考の名詞: 陳述度が下がるにつれて「という」の介在が必須ではなくなる

② コトを表す名詞: 事実、原因、結果、夢...

✓ 「という」の介在が任意である

③ 感覚の名詞: 姿、匂い、形、色、音、感触、感じ、気配、写真、絵、光景...

「という」の介在が不可である

不定詞による名詞修飾

日本語の「という」との平行性: *masin* ('about') の生起

▶ *masin*が必須: 言語化に関わる名詞

(13a)...[errorr erkir veradam-al-u *(masin) Hakob Injilulyan-I] c'ankut'yan-ë,
third country return-INF-GEN about Hakob Injilulyan-GEN desire-the
Arman-n as-ac', vor Hakob-ë namak-um nman ban ë'l gr-el.
Arman-the tell-AOR that Hakob-the letter-LOC such thing NEG write-IN
<https://www.panorama.am>

“...as for the desire of Hakob Injighulyan to move to a third country, Arman told that Jacob did not write anything like that in his letter.” (「～移住したいという要望」)

▶ **masin**が介在可能:言語化に関わる名詞

(13b)..Yerevan-e [haravkovkas-yan taracašrjan-i veraberyal banakc'utyun-ner-in
Yerevan-the South Caucasus region-GEN related to negotiation-PL-DAT
masnake'-el-u (**masin**) hraver č'i st-ac'-el.
participate-INF-GEN about invitation NEG receive-AOR-INF

<http://www.7or.am>

“Official Yerevan has not received *an invitation to participate in negotiations on the South Caucasus region.*” 「～参加する(ように)という招待」

▶ **masin**が介在不可能:コトの名詞 (日本語との相違)

(13c)...mard-č [buterbrod-ner-i, hamburger-ner-i kam tapak-ac kartofil-i
person-the sandwich-PL-GEN hamburger-PL-GEN or fry-RES.PTCP potato-GEN
het surč xm-el-u (***masin**) sovorut'yun uni...
with coffee drink-INF-GEN habit has

<https://med.news.am>

“For that reason, if a person has *a habit of drinking coffee with sandwiches, hamburgers or fried potatoes*; the sugar level in blood rises quite often...”

「～飲む習慣」

「感覚の名詞」

▶ 寺村(1980)

▶ 「知覚を表す名詞」(音、匂い、味など…)を主要部とする名詞修飾表現を英語に訳す際に「that節でなく、「of～ing」の形の内容的修飾形式をとる特徴がある」(p.260)

▶ 「写真」「光景」のような名詞は「of～」だけでなく、「in which…」関係節を取ることが多い。」(p.260)

⇒ アルメニア語ではこういった表現に対して定形節が成立しにくい、不定詞による名詞修飾が成立する

※ただし、意味的制約によって不定詞による名詞修飾が成立しない場合もある

▶ 「感覚の名詞」:不定詞による名詞修飾が可能

(14a) Ls-v-ec' [inč' vor mek-i astičan-ner-ic' ijn-el-u] votnajayn-ner-č.
hear-pass-AOR someone-GEN stair-PL-ABL come down-INF-GEN footstep-PL-the
“We heard *footsteps of someone coming down the stairs.*”
<https://www.google.am>

▶ 不定詞の名詞修飾が不可能

(b) *...Inč' vor mek-i [astičan-ner-ic ijn-el-u] tesq-č...
someone-GEN stair-PL-ABL come down-INF-GEN appearance-the
“...*a figure of someone coming down the stairs.*”

⇒ 意味的制約:主要部名詞の指示対象と修飾節の間に直接的な因果関係がなければならない

「相対的補充」<空間的な関係を表す名詞>

▶ 不定詞の名詞修飾が可能

(15a) *...amen angam [tan-ic' xanut' gn-al-u] č anaparh-in getnanc'um-i tak,
each time home-ABL shop go-INF-GEN way-DAT underpass-GEN under
handip-um ei mi bari papik-i...
meet-PTCP.PRES I was a kind old man-DAT

<http://imverevan.com>

“Each time on *the road on which I go to the shop from home*, under the underpass, I used to meet a nice old man...”

▶ 不定詞の名詞修飾が不可能

(b) *...amen angam [tan-ic' kxanut' gn-al-u] dimac'-I po č oc'-um...
each time home-ABL shop go-INF-GEN behind-GEN street-LOC
“*Behind the road where I always go to the store from home.*”

⇒ 意味的制約:主要部名詞の指示対象と修飾節の間に空間的な隣接が要求される

4. 語用論と名詞修飾節:名詞修飾節の機能的有用性

- ▶ (9)[頭が/のよくなる]本
- ▶ 通常の「内の関係」の名詞修飾表現とは異なり単に格助詞を付すだけでは修飾節内に被修飾名詞を組み込むことはできない。
- ▶ ×この本{が/を/に}頭がよくなる。
- ▶ しかし、「格助詞」に「他の要素」を組み合わせてると組み込むことができる
- ▶ (9')この本を読めば頭がよくなる。→[この本を読めば頭がよくなる]本

41

語用論的推論で「短絡」を補う名詞修飾節・「饒舌な」名詞修飾節

- (16) (a) [頭がよくなる]薬
(b) [太らない]お菓子
(c) [翻訳した]お金を全部食べちゃったの?
(d) [トイレに行けない]コマーシャル
(e) 清水:最近はおら、トイレもああいうの多いじゃん。私たち便器の方で流しますから、押ししたりしないで下さいね、みたいなトイレ。
(山口2009, p.152)

42

語用論的富化(Pragmatic Enrichment) (Ariel 2008): 聞き手が「行間」を埋める

- ▶ “We routinely rely on **addressees’ ability and readiness to draw inferences**, which they perform based on the semantic meanings we do provide them with.” (p.160)
- ▶ “...addressees may associate an unencoded but concomitant interpretation with the meaning of the form” (ibid)
- ▶ **読み手・聞き手責任言語**的特徴
(Reader/Hearer-responsibility language)
(Hinds 1987)

43

韓国語の場合: 日本語との類似点と相違点

- (16a') [meli-ka/*uy cohaci-nun] chayk
頭-が/の よくなる-連体:現在 本
「頭が/*の よくなる本」
(属格は不可だが主格であればこのまま成立)
- (c') [penyekha-n ton]-ul
翻訳する-過去連体 お金-を
cenpwu mek-nun tey sse pelye-ss-ni?
全部 食べる-nuntey 使う-しまう-過去-疑問
「**翻訳したお金を全部食べるのに使ってしまったの?**」
(日本語よりも説明的な補足文章が必要)

44

中国語の場合(因果関係を明示的に補う 必要がある)

(16a'')? [头脑 变 聪明] 的 书
頭 なる 賢い の 本
「頭がよくなる本」

(a''') [使 头脑 变 聪明] 的 书
使役 頭 なる 賢い の 本
「**頭をよくする本**」

45

(16c'')? [翻译] 的 钱 全部 吃光了 吗?
翻译 の お金 全て 食べつくす Q
「**翻訳のお金すべて食べちゃったの?**」

(c''')
[[翻译] 赚来] 的 钱 全部 吃光了 吗?
翻译 稼ぐ の お金 全て 食べつくす Q
「**翻訳して稼いだお金すべて食べちゃったの?**」

46

日本語・韓国語・中国語の名詞修飾節のマーキング の弁別性の程度の違い: 日<韓, 中

日:(17) [市長を非難した]レポーターが医師を叱責した。

韓:(18) [Sijang-eul kongyekha-n] gijaneun-i Jinju-lul bo-ass-ta.

市長-を 非難する-過去連体 記者-が ジンジュ-を 会う-過去-陳述
「市長を非難した記者がジンジュに会った。」

中:(19) [指责 市长] 的 记者 采访 了 李娜

非難する 市長 の 記者 インタビューする 完了 リナ
「市長を非難した記者がリナをインタビューした。」

- 共通点: SOV語順+前置修飾型
- 相違点: 中国語: 名詞修飾節のマーカ-「あり」
- 日本語: 名詞修飾節のマーカ-「なし」 (属格の「的」)
(連体形=終止形)
- 韓国語: 名詞修飾節のマーカ-「あり」
(連体形≠終止形)

語用論的推論・富化: 弁別度が低い日本語 においてより生産的に駆使

主節と名詞修飾節の「垣根」が低い

「主節」に典型的に生起する文法現象が
「名詞修飾節」においても観察され易い
→「主節現象(main clause phenomena)」

48

敬体の名詞修飾節内の使用:ポライトネスの表現「圧力」が名詞修飾節内部に浸透(南 1987, Matsumoto 2009)

(20) (a)[こちらからお送りし**ます**用紙]に御署名御捺印の上お返し下さい**ませ**。

(b)[お申込みになり**ました**]カードを発行させて頂き**ます**。(p.296,原文ローマ字)

4
9

類似した敬語体系を有する韓国語では不可能

(21) * [ecey tulye-ss-*supnita*-ten]

昨日 差し上げる-過去-上称-過去 (回想) 連体
saywu-nun pelsse tusye-ss-*supni-kka*.

えび-題目 もう 召し上がる-過去-上称-疑問

「きのうさし上げ**ました**えび」は、もうおあがりになりましたか。」(堀江2001:201)

5
0

4.1 日本語名詞修飾節の有用性 (I) : 「連体即連用」現象

- ▶ 奥津(2005)の一般化
- ▶ 或る文の中の連体成分(準連体を含む)を取る名詞句から、その連体成分が移動して連用成分になっても、二つの文の知的意味が同じになる現象を連体と連用の対応と言う。(p.251)

5
1

奥津の問題提起 (p.259)

連体と連用はそれぞれを含む二つの一次述語文の知的同義性を前提としている。しかし連体と連用という異なる構造をとる限り、何かが違うのではないか。違いがあるとすれば、その違いは何か？人は何故ある時は連体を、ある時は連用を選ぶのであろうか？

5
2

「連体」vs.「連用」

(21a)[**甘いものが好きな**]田中先生がなんと酒を飲んでいる。

(b)田中先生は**甘いものが好きなのに**なんと酒を飲んでいる。

(22a) [**塩辛い**]漬け物は健康によくない。

(b) 漬け物は**塩辛いから**健康によくない。

(23a)[**酒を飲んだ**]ドライバーは運転してはならない。

(b) **ドライバーは酒を飲んだら**運転してはならない。

5
3

長沼・堀江 (2012)

日本語原文の小説と英訳、英語原文の小説と日本語訳、さらに対訳から原作への調査を行い、「両言語で対応が見られる場合」と「見られない場合」の生起頻度及び対応・非対応の事例の分類を行った。

5
4

英語における「連体即連用」現象 (再掲)

全般的な傾向:英語では日本語に比べると相対的に「連体」と「連用」の対応がありえるときに「連用」構造が選好される傾向がある。日本語は「連体」が選好される傾向が強い。

日本語の「連体」→英語の「連用」 多
英語の「連体」→日本語の「連用」 少

5
5

長沼・堀江 (2012) (続)

日本語の名詞修飾節→英語の副詞節+独立文

(24a) [着替えやタオルを抱えて私を見上げた]お婆さんの瞳はそれでもやれやれと
という調子で微笑んでいた。(『Tsugumi』)

(b) When my aunt glanced at me, her eyes were smiling softly, as if to say, What can you do? This is how things are! She had a change of clothes and a towel.

(*Goodbye Tsugumi*) (p.181)

5
6

長沼・堀江 (2012) (続)

日本語の名詞修飾節→英語の分詞構文

(25a) [つぐみの部屋にたどりついた]私達はもう一度ため息をついた。
(『Tsugumi』)

(b) Arriving at the door to Tsugumi's bedroom, we sighed. (*Goodbye Tsugumi*)

(堀江・長沼2012: 182)

5
7

連体と連用の機能的相違： 石黒 (2007:79-80)

連体修飾節は連用修飾節にくらべて、論理関係を厳密に表すことができないということは押さえておいたほうがよいでしょう。一方、連体修飾節には、論理関係を明確に表さないことによるメリットもあります。連用修飾節の場合は述語を単位として一つひとつ時間軸のうえに設定し、その時間関係を示さなければなりません。連体修飾節の場合は時間関係をはっきり示さずすみ、ある場面を一枚の絵として切り取ることが可能です。

5
8

前置名詞修飾節:背景情報を表すのに活用 (他言語では「連用」が用いられることが多い)

(背景情報を示す主語関係節)

(26a) [六つとき、大人のひとたちに、絵描きで身を立てることを思いきらされたおかげで、うわばみの内側と外側の絵を描くよりほかは、まるきり絵を描くことをしなかった]僕なんですから。(Collier-Sanuki 1993: 64)

(背景情報は副詞節・主節などで表示)

(b) The grown-ups discouraged me in my painter's career when I was six years old, and I never learned to draw anything except boas from the outside and boas from inside. (p.65)

59

4.2 日本語名詞修飾節の有用性 (II)： 独立名詞修飾節

- ▶ 通常の「名詞修飾節」:主節の中に埋め込まれており、背景的情報(前提)を表すことが多い
- ▶ 主節を欠く「名詞修飾節」:必ずしも背景的な情報を表してはいない。(新屋2014)

- ▶ Matsumoto (in press):「これから生じる事象や行為のための舞台を整えるのと同様のやり方で、談話の領域に際立った属性を有する指示物を導入する(“to introduce to the domain of discourse referents with the highlighted attributes (described in the clause) in a manner analogous to setting a stage for events and actions to occur”)」

6
0

「ト書き連鎖」(坪本2014)

(27) レンコ,バス停に止まっていたバスに飛び乗る。閉まるドア。

- ▶ 「タイミングにかかわる「臨場感」や「現場性」が反映している構文連鎖」(p.61)であり,脚本のト書きでよく用いられる構文
- ▶ 「「閉まるドア」はドアのタイプではなく,同じドアの開いた状態から閉まる状態への変化の一瞬を切り出したものである」(p.61)

61

- ▶ 宣伝広告,ブログ,エッセイ,フィクション,ノンフィクション,新聞報道(大西 2013)などにおいて使用

- ▶ (28)[やわらかで上品な甘味を醸し出す],薄い茶色の砂糖.
- ▶ (29)[先がすぼまった],微妙な形のイイホシユミコさん作のカップ. [一見アンバランスなようで,緻密に計算しつくされた]フォルム.(石黒2007: 166)
- ▶ (30) [消防官になれる?] ガイド (Matsumoto, in press)
- ▶ (31)桜井署によると,現場は[遮断機や警報機がない]踏切。(大西 2013)

62

おわりに:言語類型論から見た日本語の名詞修飾表現の特徴

- ▶ I)他言語の「関係節」「補文」、さらにそれ以外の構造(例:分詞句・不定詞句)に対応する幅広い構造的解釈(意味)を有する。
- ▶ II)語用論的な推論に支えられ,他言語で連用構造(例:副詞節)や独立文が用いられる場合にも選好して用いられ,背景情報や、「主節的な現象」、さらに単独で臨場性も表象する。極めて有用性の高い言語資源(構文)である。

63

謝辞

- ▶ 本研究は,国語研のプロジェクトの研究成果であると同時に,以下の科学研究費の支援を一部受けております。国語研の事業であるインドにおける日本語学ビデオ講義資料のスライド,名古屋大学大学院博士課程のクロヤン・ルイザ氏, Michael Mansbridge氏のスライド資料を一部修正の上使わせて頂いております。
- ▶ 科学研究費(基盤研究(C)):課題番号16K02624 「中断節の語用論的機能に関する通言語的対照研究:連体・準体節と連用節の対比を中心に」(代表:堀江薫)

64

参考文献(一部)

- Ariel, Mira. (2008) *Pragmatics and Grammar*. Cambridge: Cambridge UP.
- 堀江薫・ブラシヤント・バルデシ(2009)『言語のタイポロジー-認知類型論のアプローチ-』研究社,東京。(『認知言語学のフロンティア』シリーズ15巻)
- Horie, Kaoru (2011) "Versatility of nominalizations: Where Japanese and Korean Contrast." *Nominalization in Asian languages. Diachronic and typological perspectives*, ed. by Yap, Foong Ha et al., 473-495. John Benjamins, Amsterdam & Philadelphia.
- Horie, Kaoru (2012) "The Interactional Origin of Nominal Predicate Structure in Japanese: A Comparative and Historical Pragmatic Perspective," *Journal of Pragmatics* 44, 663-679.
- Horie, Kaoru (2017) "The Attributive-Final distinction and the Manifestation of "Main Clause Phenomena" in Japanese and Korean Noun Modifying Constructions," *Noun-modifying Clause Constructions in Languages of Eurasia: Reshaping Theoretical and Geographical Boundaries*, ed. by Matsumoto Yoshiko, Bernard Comrie, and Peter Sells. John Benjamins, Amsterdam & Philadelphia.
- Horie, Kaoru (to appear, a) "Subordination," *The Handbook of Japanese Contrastive Linguistics*, ed. by Prashant Pardeshi and Taro Kageyama. Walter de Gruyter, Berlin.

65

- Horie, Kaoru (to appear, b) "Linguistic Typology and the Japanese Language," *Cambridge Handbook of Japanese Linguistics*, ed. by Hasegawa Yoko. Cambridge: Cambridge University Press.
- 井上和子(1976)『変形文法と日本語(上)』大修館書店
- 石黒圭(2007)『よくわかる文章表現の技術V -文体編-』明治書院
- 加藤重広(2003)『日本語修飾構造の語用論的研究』ひつじ書房
- Keenan, Edward, and Bernard Comrie (1977). "Noun Phrase Accessibility Hierarchy and Universal Grammar." *Linguistic Inquiry* 8: 63-99.
- 益岡隆志(2000)「連体における縮約節」益岡隆志『日本語文法の諸相』, 215-232. くろしお出版
- Matsumoto, Yoshiko (1997). *Noun-Modifying Constructions in Japanese: A Frame-Semantic Approach*. John Benjamins, Amsterdam.
- Matsumoto Yoshiko, Bernard Comrie, and Peter Sells. (eds.) (2017) *Noun-modifying Clause Constructions in Languages of Eurasia: Reshaping Theoretical and Geographical Boundaries*. John Benjamins, Amsterdam & Philadelphia.
- Matsumoto, Yoshiko (in press) "Japanese Relative Clauses that Stand Alone." *Japanese/Korean Linguistics* 22. Stanford: CSLI Publications.

66

- 南不二男(1987)『敬語』岩波書店
 長沼由香里, 堀江薫(2012)「非原型的」修飾機能の観点から見た日英語
 の名詞修飾構造: パラレルコーパスに基づいて」*Studies in Language
 Sciences*11. (Kaitakusha publishers), 174-197.
 新屋映子(2014)『日本語の名詞指向性の研究』ひつじ書房, 東京.
 大西美穂(2013)「文末が名詞で終わる報告・引用表現」『日本語
 用論学会第15回大会論文集』, 25-32.
 奥津敬一郎(2005)『連体即連用?』ひつじ書房
 寺村秀夫(1992)「連体修飾節のシンタクスと意味」『寺村秀夫論文
 集—日本語文法編—』, 157-320. くろしお出版
 寺村秀夫(1980)「名詞修飾部の比較」国広哲弥(編)『日英語比較講座 第2
 巻文法』, 139-184. 大修館書店
 坪本篤郎(2014)「いわゆる主要部内在型関係節の形式と意味と
 語用論」益岡隆志他(編)『日本語複文構文の研究』, 55-84. ひ
 つじ書房
 リンゼー・ウエイリー(2006)『言語類型論入門-言語の普遍性と多様性-』
 岩波書店
 山口治彦(2006)『明晰な引用、しなやかな引用-話法の日英対照研究-』
 くろしお出版